



特別講義を開催しました

令和6年7月22日(月) 香川県庁ホールにて、かがわ長寿大学高松校・西校合同の特別講義を行いました。

1 時限目は瀬戸内国際芸術祭総合ディレクターの北川フラム氏から『地域をひらく周縁の力～瀬戸内国際芸術祭を例として～』をテーマに講演していただきました。



— 受講生の感想 —

- ★ 単なるアート、芸術祭ではなく、成り立ちの話に驚きました。これから見方が変わると思います。
- ★ 瀬戸内国際芸術祭についてより深く知ることができ良かったです。来年ぜひ行きたい。
- ★ 世界は海でつながっている、芸術は地域の生活、人とのつながりで美が生まれているとの事、改めて感動した。
- ★ アート中心の催物だと思っていたが、地域活性化・高齢者の連携を目的としていることに感動しました。

2 時限目は『瀬戸内国際芸術祭を支える 1000 日、サポーターの魅力』をテーマに、実例発表が行われました。



コーディネーター
特定非営利活動法人 瀬戸内こえびネットワーク
事務局長 甘利 彩子氏



発表者
瀬戸内国際芸術祭サポーター こえび隊
藤岡 美佐保氏 白石 幸一氏 塩山 晶子氏

— 受講生の感想 —

- ★ ボランティアの活動内容が具体的によくわかって良かった。
- ★ 実例の発表から活動の楽しさ、参加する楽しさが伝わりました。
- ★ 瀬戸内国際芸術祭のサポートはもちろん、地域をひらく大きな原動力としてのこえび隊の役割の大切さがよくわかった。
- ★ こえび隊の地域に根差した活動が素晴らしい。